

令和4年(2022) 県政記録 いしかわ



はじめに

令和4年は、長引くコロナ禍をはじめ、地震や大雨などの自然災害、原材料価格やエネルギー価格の高騰など様々な課題に直面した年でした。そうした中であっても、県民の皆様の命と生活を守るため、関係機関と協力しながらあらゆる対策を講じてきました。

また、28年ぶりに知事が交代した年でもありました。3月に就任した馳知事のもと、幸福度日本一の石川県の実現に向けて、石川県成長戦略の策定の着手とともに、G7教育大臣会合の誘致、デジタル化やカーボンニュートラルへの対応など、様々な取り組みを積極的に行ってきました。

この県政記録は、こうした令和4年における県政の成果をまとめたものです。幅広くご活用いただき、県政に対してより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



石川県立図書館
(2022年7月16日撮影)

目次

| 令和4年県政の主な出来事 | ページ |
|--------------|-----|
| 1月 | 2 |
| 2月 | 4 |
| 3月 | 6 |
| 4月 | 8 |
| 5月 | 10 |
| 6月 | 12 |
| 特集 | 14 |
| 7月 | 16 |
| 8月 | 18 |
| 9月 | 20 |
| 10月 | 22 |
| 11月 | 26 |
| 12月 | 28 |
| 石川県民の歌 | 30 |

<表紙写真>
(上) トキ
(下) 大雨災害(小松市中海町)

1月の 主な出来事

- 1日 ●県民旅行割の実施(～26日、3月22日～10月10日)
- 15日 ●能登牛いただきますキャンペーン2022(～31日、3月22日～4月18日)
- 17日 ●小松空港開港60周年記念搭乗キャンペーン(～3月18日)
- 21日 ●石川県デジタル化推進計画の策定
- 22日 ●「冬の観能の夕べ」公演(29日、2月5日、12日、3月5日)
- 23日 ●新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催(ほか17回(第52回～68回))
- 27日 ●石川県動物愛護管理推進協議会の設置
- 29日 ●使い捨てプラスチックごみ削減フェア

能登牛いただきますキャンペーン2022の開催 (15日～31日、3月22日～4月18日)



ブランド力強化のため増産を進めている能登牛の消費拡大を図るため、15日から、能登牛認定店においてお得なサービスやプレゼント企画を実施する「能登牛いただきますキャンペーン2022」を開催しました。

小松空港開港 60 周年記念搭乗キャンペーン (17日～3月18日)

小松空港開港 60 周年を記念して、小松空港発着便の搭乗者に、抽選で旅行券または石川県や就航地の特産品をプレゼントする「小松空港開港 60 周年記念搭乗キャンペーン」を実施しました。



「冬の観能の夕べ」公演 (22日、29日、2月5日、12日、3月5日)



<能>

<狂言>

22日から3月5日まで、県立能楽堂で、本県が誇る伝統芸能の1つである能楽に親しんでもらうため、能、狂言、仕舞をそれぞれ一番ずつ上演する「冬の観能の夕べ」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催 (23日ほか17回(第52回～68回))



23日、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対応を協議するため、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。

会議は23日のほか、年内に17回開催し、飲食店への営業時間短縮要請や県民への注意喚起など、様々な対策を決定しました。



使い捨てプラスチックごみ削減フェア (29日)



29日、海洋汚染の原因となっているプラスチックごみ問題などについて、家族みんなで楽しみながら学ぶことができる「使い捨てプラスチックごみ削減フェア」を開催しました。当日は、セミナーや体験コーナー、環境配慮型製品の展示などを行いました。

2月の 主な出来事

- 3日 ●(株)エスプールグローバル進出表明
(9月13日:増設表明)
- 4日 ●加賀東芝エレクトロニクス(株)増設
表明
- 5日 ●冬の夜の誘客イベント(~24日)
- 11日 ●いしかわ県民ワクチン接種センタ
ーの設置
- いしかわ伝統工芸フェア2022(~
13日)
- 21日 ●石川県事業復活支援金の創設
- 22日 ●石川県国民保護共同図上訓練
- 再生可能エネルギー推進計画の改
定
- 25日 ●石川県デジタル化推進アドバイザ
ーへの委嘱状交付
- 28日 ●石川県と株式会社NTTドコモとの
連携協定締結

(株)エスプールグローバル進出表明 (3日、増設表明:9月13日) 加賀東芝エレクトロニクス(株)増設表明(4日)



3日、東京都に本社を置き、民間企業や自治体の事務作業の受託を行う株式会社エスプールグローバルより、かほく市に事業所を開設する旨の報告を受けました。

民間企業や自治体によるアウトソーシングの需要の高まりに対応するため、新たな拠点を開設することとなりました。

また、9月13日、本県2か所目となる事業所を小松市に開設する旨の報告を受けました。



また、4日、パワー半導体を製造する加賀東芝エレクトロニクス株式会社より、能美市の自社敷地内に、工場を増設する旨の報告を受けました。

今回の増設は、電気自動車や産業機械など幅広い用途で使われるパワー半導体の旺盛な需要に対応するためのもので、現在と比べ、生産能力を2.5倍に高めることを目的としています。

いしかわ県民ワクチン接種センターの設置(11日)



11日、新型コロナワクチンの追加接種が開始されたことに伴い、希望者への円滑な接種を促進するため、県庁19階展望ロビーに県直営の接種センターを設置しました。



いしかわ伝統工芸フェア 2022 (11~13日)



11日から13日の3日間、東京国際フォーラムで、県内36業種の工芸品が一堂に並ぶ「いしかわ伝統工芸フェア2022」を、2年ぶりに会場を設けて開催しました。

今回は「暮らしを楽しむ工芸」をテーマに54の企業・団体が出展し、石川の多彩な工芸品を展示・販売しました。

石川県デジタル化推進アドバイザーへの委嘱状交付(25日)



25日、北陸先端科学技術大学院大学副学長・教授の丹康雄氏に、石川県デジタル化推進アドバイザーの委嘱状を交付しました。

県のデジタル化の取り組みについて、専門的な見地から助言をいただきました。

石川県と株式会社NTTドコモとの連携協定締結(28日)



28日、株式会社NTTドコモと、「石川県のデジタル化の推進に関する連携協定」を締結しました。県庁で締結式が行われ、知事と株式会社NTTドコモの井伊基之代表取締役社長が協定書に署名しました。

県と株式会社NTTドコモは、この協定に基づいて、県内の5G環境の整備促進や、県内企業の5G利活用に向けた取り組みを支援するなど、デジタル化を推進し、本県の活力向上に繋げていきます。

3月の 主な出来事

- 4日 ●いしかわ版里山づくりISOの認証
(7月21日)
- 5日 ●県立図書館建物見学ツアー第2弾
及びこどもエリア体験会(~6日)
- 7日 ●いしかわ共生社会づくりモデル地
域コミュニティの認定
- 9日 ●いしかわ就職フェア(~10日、6月
21日~22日)
- 12日 ●いしかわ動物愛護フォーラム
- 18日 ●金沢港・神戸港とのクルーズ振興
に関する連携協定締結(9月15日:
連携記念クルーズの寄港)
- 土口川2号 通常砂防事業の完成
(珠洲市大谷町地内)
- 狼煙 地すべり対策事業の完成
(珠洲市狼煙町地内)
- 19日 ●能登の旅情報センターのリニュー
アルオープン
- 23日 ●児童生徒1人1台タブレット端末の
整備完了
- 24日 ●災害救助犬審査会の開催
- 27日 ●馳浩知事が就任
- 28日 ●かほく市国道159号交通安全対策
事業<七塚地区>完成に「感謝す
る集い」(完成:3月28日、感謝す
る集い:5月28日)
- 警察本部の組織機構を改革「生活
安全部サイバー犯罪対策課」を設置
(28日)
- 「警備部総合警備対策課」を設置
(11月1日)

いしかわ就職フェア (9~10日、6月21日~22日)



9日、10日、6月21日、22日、県内企業の人材確保の支援及び学生の県内就職を促進するため、大学生等の就職活動の開始に合わせ、県内企業と学生が直接出会う機会を提供する合同企業説明会「いしかわ就職フェア」を開催しました。

金沢港・神戸港とのクルーズ振興に関する連携協定締結 (18日)

連携記念クルーズの寄港 (9月15日)



18日、県は神戸市と、クルーズ船の誘致促進と両港の発展に向けて、「神戸港と金沢港の連携に関する協定」を締結しました。



9月には、協定締結の成果の第一弾として、日本クルーズ客船株式会社の協力のもと、神戸港から金沢港を結ぶ連携協定記念クルーズを運航しました。

能登の旅情報センターのリニューアルオープン (19日)



平成15年にのと里山空港の開港に合わせオープンした「能登の旅情報センター」が19日、リニューアルオープンしました。

今回のリニューアルでは、到着ロビーからセンター内を見やすくしたほか、パンフレットを専用棚に集約するなど、より機能的で分かりやすいレイアウトになっています。さらに、催事スペースを確保し、能登地域の特産品のPR等を定期的実施しています。

災害救助犬審査会の開催 (24日)



24日、県森林公園で、災害救助犬審査会を開催しました。

審査会は、地震等による災害発生時に、倒壊家屋の下敷きになった被災者の捜索活動を行う災害救助犬の出動体制を整備するために行っています。審査の結果、災害時の捜索活動に対応できる能力があると認められた犬は、県の災害救助犬として1年間委嘱します。

馳浩知事が就任 (27日)



27日、馳浩知事が就任し、28日、県庁へ初登庁しました。

4月の 主な出来事

- 1日 ●「いしかわ医療的ケア児支援センター」の開設
●のとじま水族館開館40周年記念キャンペーン(～令和5年3月31日)
開館40周年記念式典(7月17日)
「光のカーテン」演出の開始(7月17日)
- 能登ふるさと博(～令和5年3月31日)
- 「加賀の國」広域観光イベント(～令和5年3月31日)
- 加賀百万石回遊ルート誘客の取り組み
SAMURAI PASSPORTの販売(～令和5年3月31日、12月1日:デジタル化)
重ね捺しスタンプラリー(～令和5年3月31日)
ライトアップイベント等ルート上でのイベント(5月3日～5日、8月11日～14日、9月17日～18日、11月5日～6日、12日～13日、19日～20日、26日～27日)
- 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン(～11月30日)
- いしかわ森林環境税の第4期がスタート
- 近世史料編さん室の設置
- 3日 ●金沢城・兼六園四季物語(～9日、28日～5月8日、6月3日～5日、7月1日～2日、8日～9日、8月11日～14日、10月14日～16日、11月3日～27日)
- 6日 ●交通安全県民運動(～15日、7月11日～20日、9月21日～30日、12月11日～20日)
- 8日 ●県の組織機構を改革(6月22日、9月20日)
県民文化スポーツ部(4月8日)
「図書館」を設置(教育委員会から知事部局へ移管・拡充)
「いしかわ百万石文化祭推進室」を設置(「国民文化祭準備室」を改組)
企画振興部(6月22日、9月20日)
「成長戦略推進室」を設置
「G7教育大臣会合推進室」を設置
- 11日 ●北陸三県と大手旅行会社が連携した誘客キャンペーン(～令和5年3月)
- 18日 ●石川県民飲食店応援食事券の発行(～12月15日)
- 28日 ●いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2022(～5月5日)
- 29日 ●金沢駅での臨時検査拠点の設置(～5月7日、8月9日～18日、12月26日～令和5年1月10日)

のとじま水族館開館 40 周年記念キャンペーン

(1日～令和5年3月31日)

のとじま水族館開館 40 周年記念式典 (7月17日)

昭和 57 年 7 月に開館した「のとじま水族館」が今年で 40 周年を迎え、1 日から開館 40 周年記念キャンペーンを実施しました。

キャンペーン中は、特別バージョンのイルカ・アシカショーやクイズラリー、飼育員なりきり体験など、さまざまなイベントを開催しました。



7月17日には記念式典を行い、園児らが踊りを披露するなど、関係者が40年の節目を祝いました。

SAMURAI PASSPORT の販売 (1日～)

デジタル化の実施 (12月1日)



長町武家屋敷跡界隈から金沢公園、兼六園、本多の森公園へと続く「加賀百万石回遊ルート」上の 12 の文化施設に、2 日間で何度も入場可能なフリーパス・SAMURAI PASSPORT の販売を、1 日から開始しました。

また、12月1日からは、スマホでの購入・提示が可能になりました。

石川県民飲食店応援食事券の発行 (18日～12月15日)

18日から、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営環境に置かれている飲食店を支援するため、県独自のプレミアム付き食事券である「石川県民飲食店応援食事券」を発行しました。

お得に飲食店を利用できる食事券として、75万冊、総額90億円分を販売し、多くの方に利用いただきました。



いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2022 (28日～5月5日)



28日から5月5日まで、クラシック音楽の祭典「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2022」を開催しました。

今回は「ロマンのしらべ 金沢が浪漫に染まる」をテーマに、国内外のトップアーティストたちが、県立音楽堂を中心におよそ160公演を行いました。

期間中は、オーケストラによる迫力ある演奏や石川ならではの伝統芸能のコラボレーション、小さなお子様から楽しめるキッズプログラムなど、さまざまな企画を実施しました。

金沢駅での臨時検査拠点の設置

(29日～5月7日、8月9日～18日、12月26日～令和5年1月10日)



帰省等を通じた新型コロナウイルス感染拡大防止のため、金沢駅の隣接地に臨時無料検査拠点を設置し、帰省客を中心に希望者への検査を実施しました。

5月の 主な出来事

- 1日 ●県指定希少野生動物種第5次指定
- 6日 ●能登地域トキ放鳥受入推進協議会の設置・開催(7月24日:能登地域トキ放鳥推進シンポジウム、8月5日:トキ放鳥候補地の決定)
- 7日 ●いしかわインターンシップフェス 2022
- 12日 ●2024年秋の北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)の開催決定
- 13日 ●福井鋳螺(株)増設表明
- 15日 ●第22回石川県障害者スポーツ大会(21日~22日、28日~29日)
- 18日 ●DMO 六本木連携 MICE 向けコンテンツ協創事業に係る体験・評価会の実施(~20日)
- 19日 ●ディーズセキュリティ(株)増設表明
- 23日 ●石川県防災会議
- 25日 ●いしかわ百万石文化祭2023 第4回実行委員会総会
- 29日 ●女性消防団員専門知識向上セミナー
- 都市計画道路北国街道線完成を祝う会

能登地域トキ放鳥受入推進協議会の設置・開催(6日) 能登地域トキ放鳥推進シンポジウムの開催(7月24日) トキ放鳥候補地の決定(8月5日)



国がトキの放鳥候補地の公募を開始したことを受け、6日、県、能登の4市5町及び関係団体で「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」を設置し、能登地域を放鳥候補地として、県と4市5町の連名で名乗りを上げました。



7月24日には、先進地である新潟県佐渡市などの取り組みを学ぶ「能登地域トキ放鳥推進シンポジウム」を開催しました。
シンポジウムでは、基調講演やパネルディスカッションを行い、地元自治体や農業団体の関係者、鳥の愛好家など、およそ400人が参加しました。



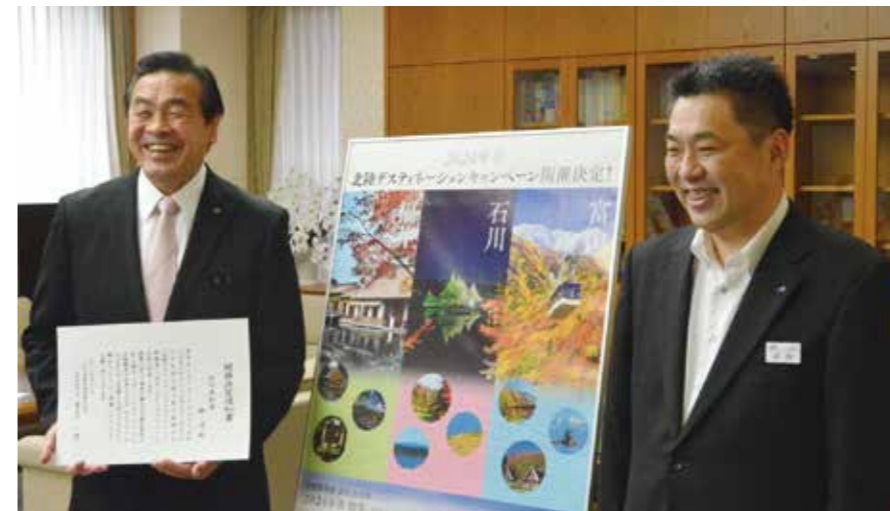
そして8月5日、能登地域が、島根県出雲市とともに、放鳥候補地に選定されました。
今後、早ければ令和8年度となる放鳥に向けて、放鳥までに必要となる取り組みなどをまとめたロードマップの策定をはじめ、さまざまな準備を進めていくこととしています。

いしかわインターンシップフェス 2022 (7日)



7日、県産業展示館4号館で、県内企業の採用担当者等が、夏季期間に開催されるインターンシップの説明を行う「いしかわインターンシップフェス 2022」を開催しました。

2024年秋の北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)の開催決定(12日)



JRグループ6社と地元自治体、経済・観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」の開催地が北陸三県に決定し、12日、JR西日本金沢支社長から知事に対して開催決定通知書が手渡されました。

開催期間は、北陸新幹線県内全線開業後の2024年10月から12月までの3カ月間で、北陸三県での開催は新幹線金沢開業の2015年以来、9年ぶりの開催となります。

期間中は、オープニングイベントを始め、各種イベントが開催される予定となっており、全国からの誘客が期待されます。

福井鋳螺(株)増設表明(13日) ディーズセキュリティ(株)増設表明(19日)



<福井鋳螺(株)>



<ディーズセキュリティ(株)>

13日、リベットやネジなどの金属部品の製造を行う福井鋳螺株式会社より、加賀市内で用地を取得し、工場を増設する旨の報告を受けました。

今回の増設は、電気自動車やハイブリッド車の需要拡大に伴う、蓄電池用部品の供給能力を向上させることを目的としています。

19日、防犯カメラ等の販売を行うディーズセキュリティ株式会社より、金沢市内で用地を取得し、工場を増設する旨の報告を受けました。

今回の増設は、海外で生産している防犯カメラを内製化し、開発から製造、出荷までを一貫して行うことを目的としています。

6月の 主な出来事

- 2日 ●エネックス(株)増設表明
- 3日 ●山王2号 急傾斜地崩壊対策事業の完成(金沢市山王町2丁目地内)
- 8日 ●野生絶滅以降県内初となるコウノトリのヒナの誕生と巣立ち(~8月5日)
- 18日 ●UIターン合同企業説明会(7月23日、8月27日、10月8日、11月12日、12月11日)
- 19日 ●能登地方を震源とする地震(~20日)
- 20日 ●いしかわ耕稼塾開講式
- 21日 ●いしかわお試しテレワーク移住支援事業の実施
- 22日 ●デジタル化設備導入支援事業(企業連携枠)の開始
- いきいきシニアドライブ相談会・電動車いす安全講習(他11回)
- 23日 ●金沢港・七尾港カーボンニュートラル報告協議会の設置
- 29日 ●白山火山防災訓練
- 一般社団法人石川県ベストコントロール協会と「高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病の発生時における緊急防疫措置に関する協定」の締結

野生絶滅以降県内初となるコウノトリのヒナの誕生と巣立ち (8日~8月5日)



コウノトリは、国の国内希少野生動植物種および特別天然記念物に指定される希少鳥類の一種です。
1986年の日本産コウノトリの絶滅以降、県内初となるヒナが誕生しました。



撮影：志賀町生涯学習課

8日までにヒナ3羽の誕生が確認され、8月上旬に3羽の巣立ちが確認されました。

UI ターン合同企業説明会 (18日、7月23日、8月27日、10月8日、11月12日、12月11日)



新型コロナウイルスの影響により、都市圏において地方への移住に関心が高まっていることから、UI ターン希望者と県内企業とのマッチングを促進するため、合同企業説明会を開催しました。説明会は東京、大阪会場のほかWEBでも開催し、UI ターン希望者に向けて、県内企業の魅力をPRしました。

能登地方を震源とする地震 (19日~20日)



19日から20日にかけて、能登地方を震源とした地震が発生し、珠洲市では震度6弱を観測し、住宅や神社などに被害が発生しました。

県では、19日に災害対策本部を設置し、被害の状況把握や復旧に向けた対応に取り組みました。



金沢港・七尾港カーボンニュートラル報告協議会の設置 (23日)



23日、金沢港及び七尾港におけるカーボンニュートラルを進めるため、官民が一体となった金沢港・七尾港カーボンニュートラル報告協議会を設置し、第1回協議会を開催しました。

協議会では、カーボンニュートラル報告形成計画の策定を目指して、議論を進めています。

新しい石川県立図書館、開館

金沢市本多町にあった図書館の老朽化等に伴い、2016年から移転の検討、そして整備を進めてきた石川県立図書館。金沢市小立野にて7月16日に開館を迎えました。

開館に先立ち、さまざまな取り組みを実施。新しい県立図書館の魅力をPRしました。

建物竣工式（3月5日）



令和3年12月に建物本体が完成し、内部の整備も概ね完了したことから、3月5日に建物竣工式を開催しました。

竣工式では、加賀五彩を用いた新たな図書館カードのデザインを発表したほか、屋内広場に展示している、本県を代表する名匠による伝統的工芸品による装飾作品をお披露目しました。

建物見学ツアー第2弾・こどもエリア体験会（3月5日、6日）



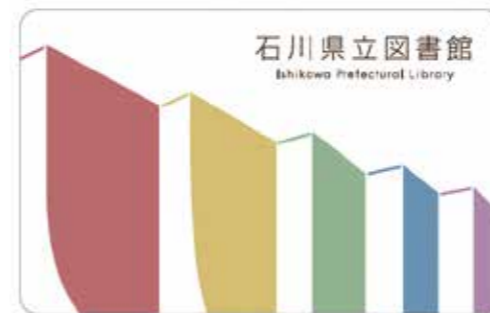
<建物見学ツアー>



<こどもエリア体験会>

また、5日と6日には、県民向け建物見学ツアー第2弾とこどもエリア体験会を実施しました。見学ツアーでは、閲覧エリアに本が並び、ソファなどの家具が搬入され、図書館らしい姿となった館内を案内しました。さらに、こどもエリア体験会では、読み聞かせ体験会やミニ見学ツアーなどを実施しました。

利用者カード事前登録会（7月2日～3日、9日～10日）

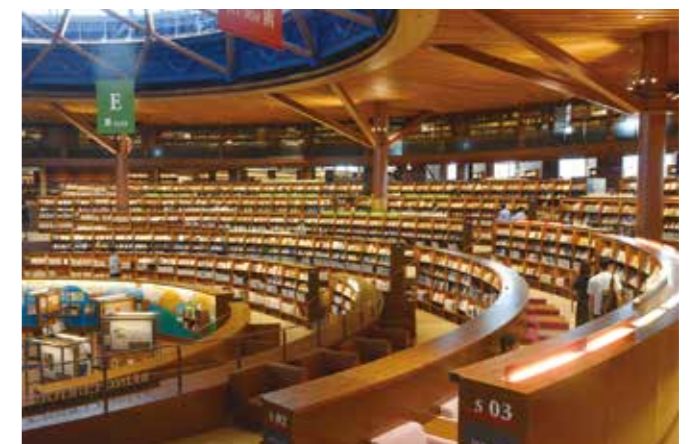


開館に先立ち、利用者カードの事前登録会を行いました。カードの作成はもちろん、従来のカードからの切り替えも可能で、多くの人が登録に訪れました。

開館記念式典（7月16日）

7月16日、県立図書館が開館しました。外観はタイル貼りのパネルとガラスを交互に折り重ね、本のページをめくるイメージに、内部は吹き抜けを本が取り囲む円形劇場のような空間となっており、閲覧エリアには旧県立図書館の約3倍となる約30万冊の本が並んでいます。

当日は午前中に記念式典を開催し、集まった約170人の関係者が開館を祝いました。



7月の 主な出来事

- 1日 ●いしかわ家庭版環境ISO「省エネ・節電アクションプラン」の実施(～9月30日)
- 「いしかわクールシェア」の実施(～9月30日)
- 南竜ヶ馬場野営場公衆トイレの供用開始
- 新型コロナウイルス感染症借換融資の創設
- 省エネ投資促進支援融資の創設
- 2日 ●石川県立図書館利用者カード事前登録会(～3日、9日～10日)
- 「観能の夕べ」公演(9日、16日、23日、30日、8月6日、13日、20日、27日)
- いしかわジュニアアスリート発掘事業スポーツ能力測定会&スポーツ見本市(～3日)
- 5日 ●石川県地域公共交通等運行継続特別支援金の創設
- 赤ちゃん協議会(11月24日)
- 7日 ●のと里山空港開港20年目突入キャンペーン「能登の里山里海の恵みオーナー権プレゼントキャンペーン」(～12月31日)
- 8日 ●シェイクアウトいしかわ(県民一斉防災訓練)
- 石川県電気自動車等購入促進事業費補助金制度の創設
- 10日 ●いしかわ師範塾設立10周年記念式典・教育実践発表
- 11日 ●CKD(株)進出表明
- 12日 ●県庁に「まちのり」ポートを設置
- 16日 ●県立図書館の開館
- (株)ワイエムシー増設表明
- 21日 ●北陸三県知事懇談会
- シグマ光機(株)増設表明
- 22日 ●県産米消費拡大キャンペーン(～令和5年1月31日)
- 公立夜間中学開設検討会の設置・開催(10月3日、11月25日)
- 25日 ●谷本正憲氏に名誉県民称号を贈呈
- 28日 ●子ども消防学校(～29日)
- 31日 ●北陸新幹線新駅舎見学会&レールウォーク(9月4日)
- 武藤敬司さんに石川県観光大使を委嘱

赤ちゃん協議会の開催 (5日、11月24日)



県内全市町、産科医を派遣する大学、県立中央病院、県医師会等の関係者からなる「赤ちゃん協議会」を設置しました。

5日に開催された第1回協議会では、産科医の確保や地域偏在の解消など、今後の周産期医療のあり方について、検討を行いました。

CKD(株)進出表明 (11日)



11日、愛知県に本社があり、機械装置等を製造するCKD(株)が、小松市への工場進出を表明しました。

今回の進出は、半導体需要の拡大による生産能力の強化と、生産拠点を分散させることでBCP対策を図るものです。

新工場では、半導体製造装置に組み込まれる機器を製造する予定です。

県庁に「まちのり」ポートを設置 (12日)



12日、県庁の敷地内に金沢市が運営する公共シェアサイクル「まちのり」のポートが設置されました。

県庁ポートの設置当日は、知事と村山金沢市長による試乗も行われました。

北陸三県知事懇談会の開催 (21日)



21日、初めて北陸三県の知事による懇談会を開催しました。懇談会では、北陸三県が連携した広域観光の具体的な取り組みを進めていくことなどについて合意しました。

谷本正憲氏に名誉県民称号を贈呈 (25日)



25日、谷本正憲前石川県知事へ石川県名誉県民称号を贈呈しました。石川県名誉県民制度は、社会の発展、学術文化の振興に卓越した功績があり、県民が誇りとする方を顕彰するため、平成4年に創設したものです。これまで6人の方が選定されており、今回の谷本前知事が7人目の名誉県民となりました。

谷本前知事は、知事として7期28年にわたり、本県の発展に尽力され、「個性・交流・安心のふるさとづくり」を通じて、石川県の日本海側のトップランナーとしての地位を築かれました。

北陸新幹線新駅舎見学会&レールウォークの開催 (31日、9月4日)



北陸新幹線の県内全線開業が間近に迫っていることを実感してもらい、開業に向けた気運の醸成を図るため、コンコースやホームを見て回る新駅舎見学会と、新幹線が実際に走るレールの上を歩くレールウォークを開催しました。



7月に小松駅、9月に加賀温泉駅で開催し、両駅合わせて約600人が参加しました。

武藤敬司さんに石川県観光大使を委嘱 (31日)



31日、プロレスラーの武藤敬司さんに「石川県観光大使」を委嘱しました。

石川県観光大使は、タレントなど、全国的な知名度が高い著名人に県知事が委嘱をするもので、それぞれの活動の場で石川県の魅力をPRいただくものです。

プロレスの興行に合わせて行われた交付式では、知事から委嘱状と県産米「ひやくまん穀」100キロの目録が手渡されました。

8月の 主な出来事

- 1日 ● 県産農林水産物のブランド化「百万石の極み」認定書交付式(6日、9月17日:認定記念イベント、17日、18日、23日、10月28日:首都圏トップセールス)
- いしかわパパ子育て応援キャンペーン(~令和5年1月)
- 「いしかわエコレンジャー」の認定(~31日)
- 海外アンテナショップの開設(実店舗:~令和5年1月31日、オンライン:4月1日~令和5年1月31日)
- 4日 ● 8月4日からの大雷雨災害(12日:8月大雨災害に関する義援金受付窓口の設置)
- 6日 ● レトロ建築ボランティアガイドの常駐化
- 14日 ● 県内トップスポーツチームと連携したスポーツ教室等の実施(ほか9日)
- 17日 ● IRいしかわ鉄道金沢以西延伸に係る並行在来線の資産譲渡に係る基本合意
- 2022いしかわミュージックアカデミー(~26日)
- 20日 ● いしかわ環境フェア2022/いしかわの里山里海展2022(~21日)
- 珠洲道路(正院町小路~蛸島町)起工式
- 21日 ● 主要地方道宇出津町野線(宇出津山分~上町)起工式
- 25日 ● 西部緑地公園再整備構想検討委員会の開催(12月27日)
- 29日 ● 新幹線県内全線開業PR戦略実行プラン策定委員会(11月29日、3月24日)
- 30日 ● 石川県消防学校機能強化検討会(10月31日、12月20日)
- 31日 ● 中小企業庁及び中部経済産業局並びに中小企業基盤整備機構と石川県との「石川県中小企業者等支援に関する連携協定」の締結

「百万石の極み」認定書交付式 (1日) 認定記念イベントの開催 (6日、9月17日) 首都圏トップセールス (17日、18日、23日、10月28日)



県では、県産農林水産物のブランド化を進めるため、令和2年に「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」を制定しています。



百万石の極み

その条例に基づき、1日、石川県産ブランド農林水産物「百万石の極み」として20品目を認定し、同日、認定書交付式を実施しました。

認定式では、「百万石の極み」の統一デザインとして、豊かな実りを「百」に見立てたデザインのロゴマークもお披露目されました。



認定を契機に、県内では、金沢駅やしいのき迎賓館などでPRイベントを開催しました。

ルビーロマンや能登牛の試食配布や百万石の極みを使った飲食物の販売などを行い、会場は多くの人でにぎわいました。

そのほか、首都圏において、ルビーロマントップセールスの実施や『能登牛』お披露目会を開催するなど、「百万石の極み」の認知度向上のための取り組みを進めています。

8月4日からの大雷雨災害 (4日~)

8月はじめ、県内は加賀地方を中心に記録的な大雨に見舞われ、梯川の支流の鍋谷川が氾濫するなど、多くの住宅や農地などに甚大な被害が発生しました。

県では4日から災害対策本部を設置し、関係機関と連携して、被害の状況把握や復旧に向けた対応にあたりました。



また一連の大雨による災害を受け、4日、県災害対策ボランティア本部を設置し、ボランティア活動への支援を行いました。

中小企業庁及び中部経済産業局並びに中小企業基盤整備機構と石川県との「石川県中小企業者等支援に関する連携協定」の締結 (31日)



31日、中小企業庁・中部経済産業局・中小企業基盤整備機構と石川県の間で「石川県中小企業者等支援に関する連携協定」を締結しました。

事業者へ寄り添い経営課題の解決を図る「伴走支援」を推進する全国初の協定であり、セミナーや専門家の派遣などを行い、事業者への支援や成長の後押しを強化していきます。

9月の 主な出来事

- 1日 ●備えて安心!いしかわ防災キャンペーン(~10日)
- 広上淳一氏のOEKアーティストティック・リーダー就任及び記念公演(18日)
- 「いしかわ難聴児相談支援センター」の開設
- 5日 ●石川県成長戦略会議の設置
- 6日 ●(有)みやげ食品増設表明
- 8日 ●陽性者登録・フォローアップセンターの設置
- 11日 ●「いしかわジュニアアートステージ」を実施(12月17日~25日)
- 12日 ●ツキノワグマ出没警戒情報の発令
- 16日 ●G7教育大臣会合の開催決定(11月9日:G7富山・金沢教育大臣会合石川県推進協議会の設置、第1回協議会の開催、12月26日:第2回協議会の開催)
- 17日 ●北陸新幹線金沢・敦賀間リレーウォーク(~18日、24日~25日)
- 18日 ●白山国立公園指定60周年記念事業(10月30日、11月12日)
- 24日 ●共生社会づくり県民フォーラム
- 25日 ●石川県防災総合訓練
- 石川県障害者ふれあいフェスティバル
- 28日 ●肥料・飼料価格高騰に対する支援の開始
- 「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」の改正
- 29日 ●アジア・パシフィック・カヌースプリント大会(~10月2日)
- 30日 ●「石川県環境総合計画」の改定
- 県庁グリーン化率先行動プランの改定

広上淳一氏のOEKアーティストティック・リーダー就任(1日) 記念公演(18日)



1日、指揮者の広上淳一氏が、オーケストラ・アンサンブル金沢のアーティストティック・リーダーに就任しました。
 広上氏は、オーケストラ・アンサンブル金沢とは、2003年以降、定期公演や「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」などで多数共演しています。
 18日には、広上氏の指揮、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏による就任記念公演を開催しました。

石川県成長戦略会議の設置(5日)



今後10年間の石川県の進むべき方向性を示す「石川県成長戦略(仮称)」を策定するため、石川県成長戦略会議を設置しました。
 会議には、県内外の各界の代表者にご参画をいただき、計画の策定に向けた議論を行ってまいります。

G7教育大臣会合の開催決定(16日) G7富山・金沢教育大臣会合石川県推進協議会の開催(第1回:11月9日、第2回:12月26日)



16日、2023年のG7広島サミットに合わせて開催される、教育大臣会合の富山県および石川県での共同開催が決定しました。
 11月9日には第1回、12月26日には第2回G7富山・金沢教育大臣会合石川県推進協議会を開催し、会合当日までの取組について議論しました。

北陸新幹線金沢・敦賀間リレーウォークの開催(17~18日、24日~25日)



17日、北陸新幹線の延伸区間である金沢・敦賀間を歩く「北陸新幹線 金沢・敦賀間リレーウォーク」を開始しました。
 この取り組みは、北陸新幹線県内全線開業に向けた気運醸成を図るため、石川県と福井県が連携して企画し、石川県では17日、18日、24日、25日の4日間で金沢駅から福井県との県境まで、新幹線の沿線をのべ約400名の参加者がリレー形式で歩いてつなぎました。

白山国立公園指定60周年記念事業(18日、10月30日、11月12日)



白山国立公園は、白山を中心として、石川を含む4県をまたぎ南北40km、東西30kmにわたる山岳自然公園で、昭和37年に国立公園に指定されてから本年、指定60周年を迎えました。
 60周年の節目にあたって、その記念事業として、白山の魅力を堪能できるさまざまなイベントを開催しました。

アジア・パシフィック・カヌースプリント大会(29日~10月2日)



29日から10月2日までの4日間、東京オリンピック・パラリンピック後、国内初開催となるカヌーの国際大会、アジア・パシフィック・カヌースプリント大会を小松市の木場潟カヌー競技場で開催しました。
 日本を含め8つの国・地域から約120人が参加し、さまざまな種目で熱戦が繰り広げられました。

10月の 主な出来事

- 「食品ロス削減月間(10月)」における県の取り組み
- 「不法投棄等防止強化月間(10月)」における隣県と連携した取り組み
- 1日 ●いしかわ百万石文化祭2023開催に向けた気運の醸成アンバサダーの就任
●カウントダウンボードの設置(14日～)
●1年前プレイベント(15日、16日、11月20日)
- 石川県摂食障害支援拠点病院の指定
- 3日 ●「石川県ひきこもり支援拠点(能登・加賀)」の開設
- 5日 ●金沢城二の丸御殿仮囲いを活用した障害者アートの展示「Social Art Museum」(~令和5年11月26日)
- 食品王国いしかわ百万石マルシェ
- 7日 ●石川県デジタル化推進会議の創設
●デジタル化に向けた庁内の体制強化(県CDOの任命)
●住まいの省エネ促進事業費補助金制度の創設
●いしかわ次世代産業創造ファンド採択企業取組発表会
- 8日 ●いしかわ介護フェスタ
●金沢城シンポジウム「金沢城の御殿空間-江戸後期の二ノ丸御殿-」
- 10日 ●「いしかわゼロカーボンの日」関連イベント
●いしかわカーボンニュートラル市町推進会議
●「いしかわECOアプリ」リニューアル
- 11日 ●金沢芸妓の舞(~3月23日)
●全国旅行支援「いしかわ旅行割」キャンペーンの実施(~令和5年6月30日)
- 13日 ●知事懇談会の開催(岐阜県知事、27日:富山県知事、11月2日:福井県知事)
- 15日 ●第43回石川の農林漁業まつり(~16日)
●金沢城公園二の丸情報館開館・御城印販売開始
●金沢城スペシャルガイドツアー(~11月11日(10回開催))
- 16日 ●「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」に各種事業を実施(~11月3日)
●「道の駅学生アートプロジェクト」試作展示(~11月30日)
- 18日 ●「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」地域シンポジウム
●中村留精密工業(株)増設表明
- 20日 ●ミュージアム・ツーリズム事業の開催(21日、25日、11月6日、20日、21日、12月3日)
●「いしかわ女性が輝く企業創造塾」の開講(~令和5年2月14日)
- 23日 ●ISHIKAWA URBAN SPORTS PARKS 2022
- 27日 ●石川県産業振興指針検討委員会の設置
- 28日 ●「獲れたて直送!石川のさかな」首都圏PRイベント
●第69回日本伝統工芸展金沢展(~11月6日)
- 29日 ●県立能楽堂開館50周年記念式典
●公益財団法人いしかわ女性基金設立30周年記念式典

いしかわ百万石文化祭 2023 アンバサダー等の就任

令和5年10月から開催される第38回国民文化祭及び第23回全国障害者芸術・文化祭であるいしかわ百万石文化祭2023を県内外に幅広く広報・PRするため、1日、石川県ゆかりの著名人6名が大会のアンバサダーとして就任しました。



<アンバサダーに就任した篠井英介さん、寺島拓篤さん、新田さちかさん>



<辰巳琢郎さん(写真右)>



<若村麻由美さん(写真中)>



<田中美里さん(写真右)>

みなさんには、イベントへの参加やSNSなどを通じた大会の魅力発信に協力していただいています。

石川県デジタル化推進会議の創設 (7日)



本県のデジタル化の推進に向けて、知事及び県内市町長で構成する「石川県デジタル化推進会議」を創設しました。デジタル技術を活用し、地域課題の解決や行政サービスのデジタル化等に対して、県と市町が連携して取り組んでいきます。

「いしかわゼロカーボンの日」関連イベントの開催 いしかわカーボンニュートラル市町推進会議の開催 (10日)



県では、令和4年を「いしかわカーボンニュートラル推進元年」と位置づけ、2050年までに県内の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げています。

また、県民の皆さんにカーボンニュートラルについて考えてもらうことを目的に、10月10日を「いしかわゼロカーボンの日」と決めました。

本年10月10日には、県内の市町や大学生が参加して今後の取り組みについて話し合う「いしかわカーボンニュートラル市町推進会議」を開くとともに、親子で参加できる体験型のイベントを開催しました。



また、家庭での日々のエコ活動による二酸化炭素の削減効果や節約金額の目安などが見える化し、省エネ活動実践のきっかけをつくる「いしかわECOアプリ」を、10日にリニューアルし、新たにグリーンスポット(=環境に配慮した行動を呼びかけている協力店)の取り組みを開始しました。

いしかわ百万石文化祭 2023 カウントダウンボードの設置 (14日～) 1年前プレイベントの開催 (15日、16日、11月20日)



いしかわ百万石文化祭2023の開催1年前となる、14日、カウントダウンボード除幕式を開催しました。カウントダウンボードは、金沢駅のほか、県庁、空港にも設置しています。

また大会開催に向けた気運の醸成のため、1年前プレイベントを、15日に能登、16日に金沢、11月20日に加賀で開催しました。

プレイベントでは、和太鼓などのステージパフォーマンスや、アンバサダーによるトークショー、障害者アート作品の展示などを実施しました。



<ステージパフォーマンス>



<トークショー>



<作品展示>

金沢城公園二の丸情報館開館・御城印販売開始 (15日)



15日、金沢城二の丸御殿の復元整備の気運醸成・情報発信のため、券売所として使われていた二の丸案内所を改装し、「二の丸情報館」として開館しました。

また、情報館の開館に合わせて、来城の記念品「御城印」の販売を開始し、当日は、情報館の開館と御城印の販売開始を記念してセレモニーが開かれました。

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会地域シンポジウム (18日)



18日、県立音楽堂で、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」地域シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは女性活躍の機運醸成を図るもので、基調講演と、西垣副知事・県内企業リーダーによるパネルディスカッションが行われ、県内外の企業の経営者等、約320名が参加しました。

「いしかわ女性が輝く企業創造塾」の開講 (20日～令和5年2月14日)



20日、企業における女性の活躍推進に向けた取り組みを後押しするため、「いしかわ女性が輝く企業創造塾」を開講しました。

本塾は、西垣副知事を塾長とし、県内外の先進企業の事例研究とグループ討議を通して女性活躍推進のノウハウを学び、自社の課題に即したオリジナルのロードマップを作成する全6回の講義となっています。

ISHIKAWA URBAN SPORTS PARKS 2022 (23日)

23日、金沢港クルーズターミナルで、アーバンスポーツの祭典「ISHIKAWA URBAN SPORTS PARKS 2022」を開催しました。

会場では、スケートボードとBMXのパフォーマンスや、本県出身の世界で活躍するBMXライダー・宇野陽介さんによるライドショーが行われ、目の前で披露される迫力ある技に、大きな歓声が上がりました。

そのほか、ストリートダンスやボルダリング、スケートボードなど、アーバンスポーツを代表する6つの競技の体験会が行われました。



「獲れたて直送！石川のさかな」首都圏PRイベント (28日)



28日、石川の新鮮な水産物の魅力を首都圏在住の消費者や、料理人・流通事業者へPRし、本県水産物の更なる販路拡大や消費拡大につなげるため、東京駅で「獲れたて直送！石川のさかな」首都圏PRイベントを開催しました。

県立能楽堂開館50周年記念式典・記念能 (29日)



29日、県立能楽堂開館50周年を記念して、記念式典および記念能を開催しました。

記念能では、能2番「羽衣・バンシキ」、「鞍馬天狗・別習」と、狂言1番「朝比奈」を上演し、開館50周年を祝いました。

11月の 主な出来事

- 1日 ●いしかわパープルリボンキャンペーン2022(～30日)
- 児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン(～30日)
- いしかわ教育ウィーク(～7日)
- 6日 ●いしかわ食のてんこもりフェスタ2022
- 7日 ●台湾からの個人旅行早期回復に向けた現地メディア招へい(～11日)
- 9日 ●アパレル産業連絡懇談会(～10日)
- 13日 ●南加賀道路(加賀市熊坂町～細坪町間)開通式
- 15日 ●いしかわ百万石文化祭2023 ラッピングバス出発式・オフィシャルサポーター就任
- 16日 ●令和4年暴力団追放石川県民大会
- 18日 ●いしかわエコデザイン賞2022の贈賞
- 19日 ●金沢外環状道路海側幹線(金沢市大河端町～福久町間)開通式
- 20日 ●子育て支援メッセいしかわ2022
- 23日 ●石川県原子力防災訓練
- 26日 ●スポーツによる地域活性化推進事業～いしかわ筋肉増強キャラバン～(12月3日、12月10日)
- 被害者支援県民フォーラム2022
- 29日 ●いしかわ百万石文化祭2023 大会旗展示及びカウントダウンボード点灯式
- 石川県交通安全県民大会
- 30日 ●石川県並行在来線経営計画(金沢以西延伸)の策定

いしかわ食のてんこもりフェスタ 2022 (6日)



6日、いしかわ四高記念公園を会場に、いしかわ食のてんこもりフェスタを開催しました。

会場では、能登井や金沢カレーをはじめとする県内のご当地グルメが大集し、訪れた人にテイクアウトで提供されました。

台湾からの個人旅行早期回復に向けた現地メディアの招へい (7～11日)



7日から11日にかけて、新型コロナウイルスの影響により落ち込むインバウンドの早期回復を目指し、台湾の現地メディア関係者を招いた県内の観光ツアーを開催しました。

南加賀道路 (加賀市熊坂町～細坪町間) 開通式 (13日)



南加賀道路は、北陸自動車道小松ICから加賀温泉郷を経て加賀ICに至る総延長28kmの幹線道路です。

新たに、細坪町から国道8号に接続する熊坂町間の1kmが完成し、13日、開通式を行いました。

これにより、北陸自動車道の加賀ICから国道8号を介さずに、山代温泉や山中温泉にアクセス出来ることとなり、加賀温泉郷をはじめとする南加賀地域の更なる活性化が期待されます。



いしかわ百万石文化祭 2023 ラッピングバス出発式・オフィシャルサポーター就任 (15日)

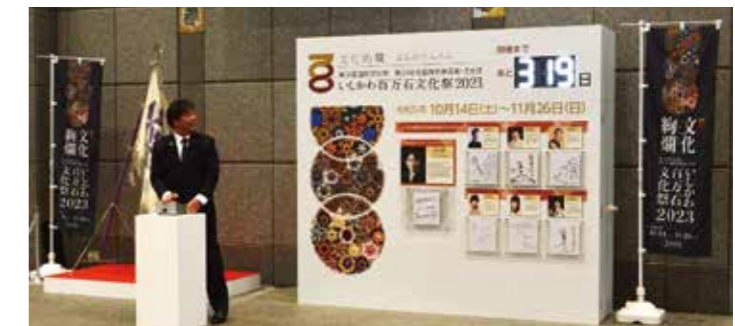
大会旗展示・カウントダウンボード点灯式 (29日)



15日、いしかわ総合スポーツセンターで、「いしかわ百万石文化祭 2023」ラッピングバスの出発式を開催しました。

出発式には、同日に大会のオフィシャルサポーターに就任した県内民放テレビ局などのアナウンサーも出席しました。

ラッピングバスは、大会が終了する令和5年11月26日まで、金沢市内を中心に運行し、国内最大の文化の祭典をPRしていきます。



また、29日、県庁1階エントランスで、令和4年度開催地の沖縄県から引き継いだ大会旗のお披露目と、カウントダウンボード点灯式を実施しました。

金沢外環状道路海側幹線 (金沢市大河端町～福久町間) 開通式 (19日)



金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって金沢都市圏の外郭を形成し、能登・金沢・加賀を連結し、広域交流を促進するとともに、金沢港と北陸自動車道や小松空港などへのアクセス強化、国道8号など周辺道路の慢性的な交通渋滞の緩和等を図る、重要な幹線道路です。

金沢市大河端町～福久町間の3.2kmについて、平成24年度より整備を進めており、19日、開通式を行い、暫定2車線で供用しました。

引き続き、4車線での全線供用に向けて、整備を進めていきます。

12月の 主な出来事

- 1日 ●プレミアム・パスポートのデジタル化
- 「いしかわウォームシェア」の実施
(～令和5年3月31日)
- (株)フェローテックマテリアルテクノロジーズ増設表明
- 3日 ●のと里山海道4車線化(羽咋市柳田町地内)完成式
- 5日 ●村本義雄氏を「石川県トキスーパーバイザー」に委嘱
- 13日 ●森ひかる選手、宇山芽紅選手へ石川県スポーツ特別賞を贈呈
- 19日 ●石川県自転車の安全で適正な利用に関する条例の制定

プレミアム・パスポートのデジタル化 (1日)

1日より、これまで紙で発行していたプレミアム・パスポートをデジタル化しました。プレミアム・パスポートは、妊娠中の子も含めて2人以上の子がいる家庭に発行されます。パスポートを協賛店舗で提示すると、割引等の特典が受けられます。



のと里山海道4車線化(羽咋市柳田町地内)完成式 (3日)



3日、のと里山海道4車線化(羽咋市柳田町地内)完成式を行いました。県では、平成27年度より柳田ICから上棚矢駄IC間の4車線化事業に取り組んでいます。このたび新たに1.7kmの区間が完成し、両IC間9.6kmのうち、6.1kmが4車線になりました。残る区間についても、能登と金沢のアクセス向上のため、整備を進めていきます。

村本義雄氏を「石川県トキスーパーバイザー」に委嘱 (5日)



5日に、長年、トキの保護活動に尽力されている村本義雄氏を「石川県トキスーパーバイザー」に委嘱しました。今年8月に、能登地域が放鳥候補地として選定され、早ければ令和8年度となる放鳥に向けて、県では環境整備を進めています。

村本氏からは、トキの生息環境の整備や観察マナーの啓発などについてアドバイスをいただくことにしています。

森ひかる選手、宇山芽紅選手へ石川県スポーツ特別賞を贈呈 (13日)



13日、世界トランポリン競技選手権大会で、女子個人競技と女子シンクロナイズド競技で金メダルを獲得し、2冠を達成した森ひかる選手と、同じく女子シンクロナイズド競技で金メダルを獲得した宇山芽紅選手へ、石川県スポーツ特別賞を贈呈しました。

贈呈式では、知事から賞状と副賞、記念品が手渡されました。両選手はそれぞれ、感謝や今後への意欲を述べました。



石川県自転車の安全で適正な利用に関する条例の制定 (19日)



19日、自転車利用者が加害者となる事故が後を絶たず、高額賠償が請求される事案も発生していることから、「石川県自転車の安全で適正な利用及び活用の推進に関する条例」を制定しました。

本条例は令和5年4月1日より施行され、施行により、自転車保険への加入やヘルメットの着用、定期的な自転車の点検・整備を推進することになっています。

石川県民の歌

行進曲風に

梅木宗一 作詞
窪田新一 作曲

16 *mf*

は く さ ー ん ー に ー あ さ ひ は

は え ー て ー あ お ぐ も ー の ー は れ

mp

ゆ く と こ ー ろ ー な に か お る

れ き し を つ ぎ て む す ば れ し ー わ れ ら け ん み ん

cresc *f*

や く し ん の ー は た を か ざ し て お お わ が

い し か わ ふ る い お こ さ ん ー

| | | |
|--|--|---|
| <p>三、</p> <p>日本海 希望の日 いでゆわき この国土 人の和に おおわが石川</p> | <p>二、</p> <p>加賀平野 海山の うちつどう 工芸の はるかなる おおわが石川</p> | <p>一、</p> <p>白山に 青雲の 名にかおる むすばれし 躍進の おおわが石川</p> |
| <p>北にひらけて 明けゆくところ 地はゆたかなり いよ栄えて 世界を結ぶ 歌いたたえん</p> | <p>能登半島に さち呼ぶところ ちまたに野辺に 花咲きにおい 稲田はみのる ひらきのぼさん</p> | <p>朝日ははえて はれゆくところ 歴史をつぎて われら県民 旗をかざして ふるいおこさん</p> |

(昭和34年11月3日制定)



石川県旗

(昭和47年10月1日制定)

「石川」の文字と石川の地形をデザイン化したものです。地色の青は、日本海と豊かな緑・清い水・澄んだ空気という石川の恵まれた自然環境を表しています。



郷土の花 クロクロリ

(昭和29年3月19日)

NHKが「郷土の花」として選んだもの。白山の弥陀ヶ原、室堂平（標高2,300～2,500メートル）付近に多く自生しています。風雪に耐えて咲くかたくなな姿は、広く県民から親しまれています。



県鳥 イヌワシ

(昭和40年1月1日指定)

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、英語でジャパニーズ・ゴールデン・イーグルと呼ばれています。翼を広げると2メートルにもなる雄々しい姿と勇猛果敢な性格は、ますます躍進する石川県を象徴しています。
撮影：須藤一成



県の木 あて

(昭和41年10月1日指定)

緑の環境づくりと木を愛する心を広めようと、県民のみさなから募集して決めました。能登地方に多く生育するヒノキアスナロで、北陸地方では「あて」と呼んでいます。家具や建築材、輪島塗の素材にも多く使われています。

令和4年(2022)県政記録いしかわ

発行 令和5年3月

発行者 石川県広報広聴室
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076 (225) 1362

石川県ホームページ内

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/kouhou/kenseikiroku/index.html>

2022

県政記録いしかわ

